



〈連載⑱〉

ふじ丸の進水



大阪府立大学船舶工学科講師

池田良穂

〔商船〕三井客船が、来年春から運航する新鋭クルーズ客船「ふじ丸」が去る9月10日に進水した。進水式には沢山の市民が訪れ、その誕生を祝った。その群衆の中であって、筆者も日本で初めての大型クルーズ客船の誕生を目のあたりにして大いに感動していた。同船は、総トン数23,500トン、旅客定員603名の大型船で、新聞報道によると既に建造途中にもかかわらず、竣工後の1年間の約7割はチャーター先が決まっているとの好調ぶりである。団体チャーターが多いのは、一般のクルーズ・ファンとしては一寸残念だが、この好調ぶりを見ると、日本にもついに本格的クルーズ時代が到来しつつあるような予感がする。この進水式のすこし前に、商船三井客船は「ふじ丸」の準姉妹船を同じ三菱重工の神戸造船所で建造することを決定した。おそらく、「ふじ丸」の極めて出足のよい営業成績に、商船三井客船も「このブームは本物だ」と判断したに違いない。

〔この〕進水式から数日して、某デパートから「ふじ丸」のゴールデンウィークのクルーズの案内が来た。パンフレットを開いて、そのクルーズ料金が「クイーンエリザベス2」並に高いのに驚き、お客が本当に集まるのか疑問に思った。ところが、その数日後、この疑問はどうやら筆者のよ

うにお金にあまり縁のない者のひがみからでたき憂にすぎないことが判明した。船好きの友人（こちらは勿論お金持ち）から、電話が入り「このクルーズを申し込んだが、船席がとれない。なんとかならないか？」とのこと。詳細を聞くと、このクルーズは発表直後にほとんどの船席が埋まり、人気のある部屋などは抽選なのだそうである。

〔この〕クルーズ人気はなになのであろうか。やはり、クルーズが高級なハイソサイエティのレジャーという印象が人々を引きつけるのであろう。「クイーンエリザベス2」が来日した時には、日本からハワイまで1000人近い日本人が乗船するようになった。今、バックツアーでパリに出掛けたといっても、何の自慢にもならない。安いバックツアーがやまほどあり、たくさんの日本人がでかけているからだ。すなわち、普通の海外旅行はいまやなんのステータス・シンボルにもならなくなった。ところが、豪華な客船の旅は違う。十分に、ステータス・シンボルに成り得るのである。現在のアメリカでも、一家でカリブ海のクルーズを楽しむことが、一つの大きな夢であり、ステータス・シンボルとなっている。こうした、少しリッチになった日本人の心をクルーズ客船はおおいにすぐっているようだ。もちろん、これだけが今の

クルーズ・ブームの原動力になっているとは思わない。経済的にも時間的にも余裕を持った人が増えたことなど、外部環境が整ってきたことが最大の要因に違いない。ただ、筆者としてはお客のステータス・シンボルを求める心を上手にくすぐることは、今後高付加価値事業としてのクルーズ産業を育てる重要なポイントとなるように思う。

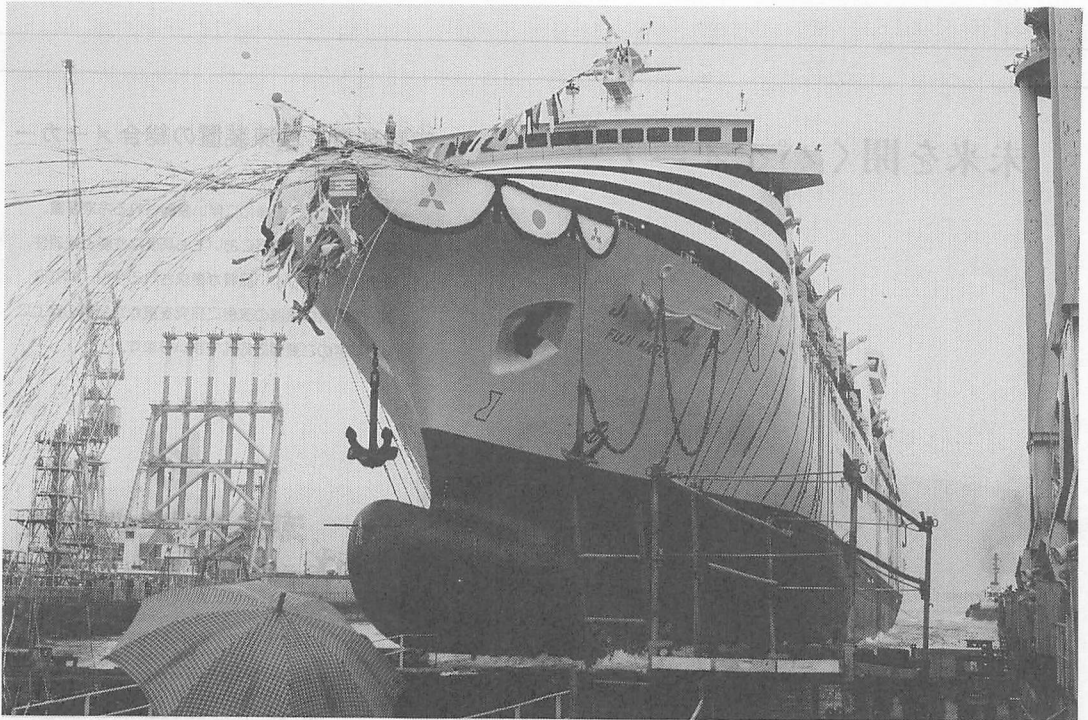
〔現在〕 児童書の専門出版社からの依頼で「ふ

じ丸」の建造過程をイラストで分かりやすく解説した本の執筆をしている。造船技術を子供にわかりやすく教えるのはなかなか難しく、原稿を書きながらワープロの前でうなってしまいうことが多い。が、造船不況ですっかり船と造船に夢を抱かなくなった人々、特に次世代を担う若い人々に、何とか船の魅力を知ってもらえるような本にしたいと思っている。これにも、大型のクルーズ客船はうってつけである。

綜合材料工業株式

代表取締役社長 田中 隆夫

本社：東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング10F
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112
支店：東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング10F
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112
支店：東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング10F
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112
支店：東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング10F
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112



支店：東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング10F
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112
支店：東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング10F
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112
支店：東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング10F
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112